
奈良県大芸術祭実行委員会 第14回総会
奈良県障害者大芸術祭実行委員会 第9回総会
奈良県みんなでのしむ大芸術祭実行委員会 第1回総会
議事録（要旨）

1 日 時 : 令和4年2月16日(水) 10時50分～11時30分

2 場 所 : 奈良県文化会館 2階 集会室A・B

3 出席者 : 荒井会長以下 実行委員会委員14名

4 議 事 :

報告案件 令和3年度「奈良県みんなでのしむ大芸術祭」開催報告

第1号議案 令和4年度「奈良県みんなでのしむ大芸術祭」実施方針(案)

第2号議案 奈良県みんなでのしむ大芸術祭実行委員会 令和4年度収支予算(案)

資料に基づき、事務局から、令和3年度「奈良県みんなでのしむ大芸術祭」開催報告を行った。また、第1号議案及び第2号議案について説明を行った。その後、第1号議案及び第2号議案について採決を行い、全議案について全員一致で承認された。

なお、実施方針について各委員から以下のとおり意見があった。

▼イベント内容について

- ・県内芸術文化団体の活動機会を確保するため、県民きらめきステージなど、イベントへの参加の機会をより増やしてもらいたい。
- ・まほろばあいのわコンサートは、障がい者の参加が多かったため、障がいのない人ももっと参加するイベントとなるよう工夫が必要。
- ・連携する市町村が偏っているように思う。連携協力を呼びかけていってもらいたい。
- ・声明や香道など伝統的なものを取り入れるとともに、地元の人出演機会を増やすなど、県内の芸術文化を育てていく取り組みも必要。
- ・ドライブインシアターに関連して、より多くの人に公共交通機関を使って見に来てもらえるような屋外イベントも考えてもらいたい。

▼広報について

- ・ストリートピアノでは、ピアノを弾いた人にインタビュー等を実施し、この映像を事後広報に活用して見てはどうか。
- ・ストリートピアノでは、YouTubeを起用した周知を期待したい。
- ・予告動画の広報は、放送局の協力もお願いしたい。
- ・みんな芸をはじめ、イベントをなら歴史芸術文化村で開催する際には、当該イベントの広報を通じて、文化村の認知度アップにもつなげていってもらいたい。
- ・みんな芸の認知について地域の実情も影響しているが、みんなが一緒に楽しめるようにYouTube等の広報媒体を積極的に活用し、広報していくことが必要。

以上